

運送会社様・バス会社様・整備工場様向け

【Webセミナー】

予知保全のためのオイル管理の重要性

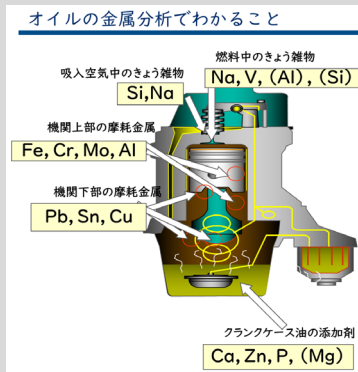
トラック・バス・建設機械など様々な車両・機械に使用されている潤滑油・グリースは、昨今の省燃費化・高効率化の流れでオイルの使用環境は過酷度を増し、その選定や管理に関する問い合わせを多く受けております。

弊社では、これらの課題解決に向けたオイル目線での改善策を共有させて頂くために「エンジンオイルの基礎」「シビアコンディション車両でのオイル選定」「エンジン周辺機器トラブルの改善方法」のつ3テーマのセミナーを実施させて頂き、約90%の参加者様が「参考になった」と高い評価を頂いております。この度、その第4弾といたしまして、オイルによる車両の状態監視というテーマを開催いたします。オイル分析で取得できる情報を正しく考察することは、オイルの劣化状態の把握に留まらず、エンジン、インジェクターの状態推定にも応用できます。本セミナーは予知保全の実現に向けた一助となる内容となっております。

ご興味がある方は、奮ってご参加くださいますようお願い致します。

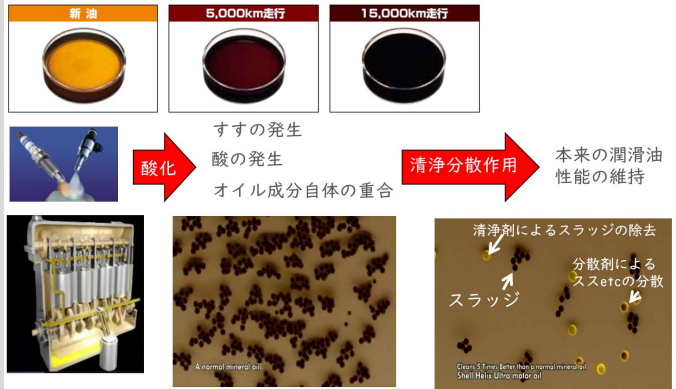
セミナー概要

Webセミナー
お申込みQRコード



潤滑油の劣化抑制の作用機構

潤滑油の添加剤技術である酸化防止技術が劣化生成物の発生を抑制するとともに劣化生成物は清浄分散技術により中和・油中に分散されて無害化されている。



- ①車両メーカー推奨オイル交換基準 ～シビアコンディションの特徴(再共有)～
- ②オイル分析の目的と試験項目の意味
- ③オイル分析の見方と考察の仕方
- ④分析の蓄積データから確認できること

開催日時	7月27日(火) 10:30～11:30 7月28日(水) 10:30～11:30
開催手段	オンライン会議 (Zoom)
講師	シェルブリカンツジャパン(株) 営業部門

お申し込み方法	上記QR/下記リンク https://shell-lubes.co.jp/lubes-grease/seminar/webinar/2306/
お問い合わせ先	SLJ-MKT@shell-lubes.co.jp

